

平成 27 年度 第 2 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 27 年 9 月 30 日(水) 13 時 30 分から 14 時 20 分まで	
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室	
議題	前回開催時の課題に対する報告、定例報告及び紹介率向上への取組みについて	
出席委員	委員長 大垣市医師会会長	山川 隆司
	副委員長 大垣歯科医師会会長	片野 雅文
	委員 大垣市医師会理事	近藤 潤一郎
	委員 大垣市医師会理事	沼口 諭
	委員 揖斐郡医師会会長	小林 収
	委員 大垣歯科医師会副会長	荻下 雅仁
	委員 大垣薬剤師会会長	松本 正平
	委員 大垣女子短大 看護学科教授	伊藤 恒子
	委員 大垣市連合婦人会会長	竹中 昌子
	委員 弁護士	鈴木 一朗
公開区分	公開	
傍聴人	なし	
審議概要	<p>1. 報告事項</p> <p>1)前回要望事項について</p> <p>(前回要望事項) ①市民病院の各科の取組の中で病診連携を各科独自に行ってい るものについては、院内周知することによって、他の科もより前向きに取り組むこ とができるのではないか。②在宅医療処置の実施の手引きの更新について、更新内容を 医師会の方で確認させてほしい。</p> <p>(事務局)①電子カルテ内の掲示板には、各委員会とか各部署からのお知らせが載せ てある。今後は、そこに地域医療支援病院の開催案内や地域連携に関するデータを 載せて院内に案内していく。②医師会に確認していただくこととし、腹膜透析のマニ ュアルから進めている。糖腎内科の医師に再度確認したところ、腹膜透析は当院の 糖腎内科のほうで処置を指導していくということで、ホームページには載せないこ とにしたいとのことなので、ご理解いただきたい。</p> <p>(委員) 在宅になると訪問看護ステーションが行ったりするので、ちょっとした注意点 みたいなところは、できればホームページに載せていただきたい。</p> <p>2)定例報告事項</p> <p>(1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②紹介医からの診察・検査 件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・ 講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況につ いて報告した。</p>	

	<p>①紹介率……27年4月～8月平均:54.4% 逆紹介率…27年4月～8月平均:95.8%</p> <p>②地域連携紹介診察件数…27年4月～8月計:4,335件 地域連携紹介検査件数…27年4月～8月計: 611件</p> <p>③開放型病床登録医数…27年8月末:96人(医科87人、歯科9人)、利用率…27年4月～8月平均:18.8%</p> <p>④救急受診患者数…27年4月～8月計:19,020人(月平均3,804人) 救急車利用件数…27年4月～8月計:3,845件(月平均769件) 救急入院患者数…27年4月～8月計:1,088件(月平均218件)</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修…27年4月～8月開催数:14回、参加人数計:1,337人(院外180人、院内1,157人) ＊病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、西濃がん早期診断研修会、在宅医療研修、西濃循環器症例検討会 等 市民対象の講演会等…27年4月～8月開催数:5回、参加人数計:265人(院外236人、院内29人) ＊がんの市民公開講座、糖尿病公開講演会、成人気管支喘息教室</p> <p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…27年4月～8月登録総数375件 27年8月末時点におけるパス開始からの登録総数:4,540件</p> <p>⑦OMNet利用状況…27年8月末時点 利用者数:72人 患者同意者総数:6,930人</p> <p>(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。</p> <p>(委員)8月の紹介率は例年落ち込むが、これは学校の検診で指摘された方が夏休みに直接市民病院に受診するためと思われる。本来はかかりつけ医で診たうえで紹介状を書いて、市民病院で診てもらうようにするべきでは。学校医からの紹介は、紹介率にはどのように影響するのか。</p> <p>(事務局)学校の検査で指摘されてかかりつけ医で受診され、そこから紹介状をいただかないとい紹介件数には反映されない。</p> <p>(委員)心電図解析委員会や腎臓の判定委員会の検査結果は紹介率にはつながらないのであれば、かかりつけ医で一度受診されるというように見直さなければならないのではないか。夏休みには小児科や、糖腎内科の高校生など、たくさん受診されるはずだが、紹介率としては下がってしまうというのはどうにも解せない。かかりつけ医が無い子どもというのはほとんどいないと思うし、市民病院での診療結果はOMネットを使用しても説明できる。</p> <p>(委員)確かに、心電図の検査結果で受診され、市民病院へ紹介状を書くというのはほとんどない。</p> <p>(委員)現状は学校検査で指摘された場合は3次医療機関に行くように、となっているのを改善できないか、一度確認してみたい。他には、救急車の利用が増えているが、特に問題無く救急医療が行えているだろうか。</p>
--	---

	<p>(委員)救急患者に関して、1次2次3次のうち、3次救急は全体のうちどれくらいの割合か分かるのか。大垣市民病院は1次救急の患者が多いけれども本来の使命としては3次救急の患者を診ることなので、その辺をどのように考えているか。</p> <p>(委員)現在も1次2次3次の救急患者を受けるのは同じ状況と思う。ただし、開業医ができるだけ1次救急を診るという考え方の下、小児夜間救急で医師会の開業医が1次救急を手伝うという形を11年ほど前に医師会と市民病院と市役所で作った。</p> <p>(事務局)ことさら1次を減らさなければいけない、という環境ではないとも思われるが、3次救急の率を上げなければいけないとは考えている。</p> <p>(事務局)救急車を利用して搬送された方が入院した率は38%で、そういう意味でいふと、かなりの率で緊急度の高い患者さんが受診されている。なお、平成25年度は36%、平成24年度は37%であった。</p> <p>(委員)1次救急をやっている病院から運ばれた人が増えているかどうか分かるか。</p> <p>(事務局)現場での話になるが、周りの病院が3次をやらなくなつたこともあり、交通外傷で高エネルギー外傷などは、ほとんど当院になる。そういう意味では全体の数は分からぬが比率としては2次3次が上がっているのではないかと思われる。</p> <p>(委員)OMNetは安八、養老、不破、大垣から他の2市4郡に拡大する予定があるか。</p> <p>(事務局)今年度に最大同時アクセス本数を20本から40本に倍増するので、そのタイミングで揖斐郡ほか西濃地域の先生方にもご利用をお勧めする。</p>
	<h3>3)紹介率向上への取り組みについて</h3> <p>(1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1月から開始した、患者さんからの電話での診察予約申し込み件数は、4月から8月までで297件。地域連携予約全体のうち6パーセント前後で推移。地域的には大垣市からが80%近くあり、診療科は多い順に皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、形成外科の順であった。 ②昨年の10月に開設した、かかりつけ医紹介センターの相談件数は、4月から8月までで104件。前年10月から3月までの93件に対して増加した。 <p>(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。</p> <p>(委員)患者さんからの電話予約は、他の地域ではこれが主体なので増えていくような気がするが、方法が複雑なのか面倒なのか。</p> <p>(事務局)他所で聞くと患者さんからの電話予約の方が多くなる、と言われるが、そういう雰囲気ではない。予約方法は同じで、特別に面倒ということでもない。</p> <p>(委員)かかりつけ医紹介センターは機能してきているか。</p> <p>(事務局)前年度に比べ、利用者数が1日に3件以上増え、順調に進捗している。</p> <p>(委員)この利用が増えると紹介率につながるので、お願いしたい。もう一つお聴きしたいが、紹介率の紹介件数は新規の患者さんでなければいけないが、逆紹介率は、「市民病院でこのように診るので基礎疾患をかかりつけ医さんでお願いしたい」と来</p>

	<p>ても逆紹介件数にカウントされるのか。本来的には、市民病院での診療を終えてかかりつけ医に紹介されて来のが逆紹介というようなイメージであるが。</p> <p>(事務局)一応は、そのようにカウントされる。市民病院での治療や検査が切れていくなくても、かかりつけ医の方で診療を受ければ逆紹介になる。</p>
	<p>2. 検討事項</p> <p>(委員)後発品の処方箋に関して、その名前で処方されていることがあるが、まれに患者さんがどうしても先発品が良いと言われることがあり、その場合は疑義紹介をかけなくてはならない。できれば一般名の処方箋にしていただけだとスムーズになる。</p> <p>(事務局)これは徹底しないとできないので、そこら辺一度きちんと統一が必要になる。</p> <p>(委員)現在は市民病院に照会しないと薬を出せないので、市民病院の方でそれに関して改めもらえるように、検討していただきたい。</p> <p>(委員)市民病院で各科の症例検討会みたいな形の病診連携を行っていただいているが、病診連携だけでなく病病連携も、例えば市民病院の先生がどこかの病院にあってカンファレンスに参加するであるとか、他所の病院の先生が来て市民病院でカンファレンスをするであるとか、ぜひ病院全体でバックアップを図っていただきたい。</p> <p>(事務局)例えば OMNet に関しても病病連携は遅れているので、今後積極的にセルスしたい。症例検討会や研究会であったり、ケーススタディ的な病診・病病連携というような会は、やっている科もあるがやってない科の方が多いので、各科に相談してできるかどうかを探っていきたい。</p> <p>(委員)そういう場があれば、やはり勉強になるので、そういうところへ行って勉強になると思うとだんだん人も増えていく。勉強会とはまた違った勉強ができるので、お願いしたい。</p> <p>(事務局)今、大垣市民病院ホームページの更新作業をしている。文字をできるだけ削除してできるだけ視覚に訴えるような分かりやすいホームページにしたい。</p> <p>(委員)大垣の在宅医療の検索システムというのがあるのでそれとリンクしていただけると、より在宅の方にという連携もアピールできると思う</p>
次回開催	平成 27 年度第 3 回は 12 月 18 日(金)に開催予定とする。